

2024年1月社長会見



2024年1月18日

1. 営業・輸送概況

2. グループの技術・ノウハウをベースにしたビジネス拡大 ～鉄道アセットを活用した課題解決～

3. 北陸新幹線金沢～敦賀間開業に向けた取り組み

詳細

まず、元日に発生いたしました能登半島を中心とする地震において、お亡くなりになられた方々に衷心よりお悔み申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また、余震が続く厳しい状況の中、夜を徹して救助や復旧に向けて懸命に取り組んでこられている皆様に、心から感謝と敬意を表したいと思います。

一時運転を見合わせました北陸新幹線および北陸エリアの在来線各線区は、概ね運転を再開しておりますが、七尾線の一部区間及びそれと連絡している「のと鉄道」におきましては、線路設備の被害が大きく、現在も運転再開に至っておりません。引き続き、早期復旧に全力を尽くし、地域の復旧、復興の動きを加速できるように最大限務めていきたいと考えています。

なお、今回の地震による被害の甚大さに鑑み、当社グループとして被災地へ義援金を拠出させていただきます。そのほか、グループの共通ポイントサービスであるWESTERポイントによるお客様からの寄付を募集しており、また社員からの義援金の募集を行うこととしております。

被災地域の復旧・復興にグループとしてしっかりと取り組んでいきたいと考えているところでございます。

1. 営業・輸送概況

【運輸取扱収入（速報値）】

12月はコロナ前の2019年比で95.7%、1月は14日までの2週間分で96.3%です。

運輸取扱収入（速報値）

	前年同日比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
12月	115.4% (95.7%)	114.6% (108.5%)	118.7% (91.2%)	102.5% (99.2%)
1月(1/1~14)	111.1% (96.3%)	113.3% (109.0%)	113.7% (94.1%)	103.4% (91.8%)

※実績は直営の速報値。駅などの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。

※ () 内は、コロナ前の2019年同日比。

【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

次に、ご利用状況ですが、山陽新幹線は、12月が2019年比で93%、1月が14日までで94%。近畿圏は、12月が103%、1月が14日までで104%となっております。

年末年始を含む12月から1月にかけては、11月に引き続き多くの国内旅行のお客様、訪日のお客様にご利用いただいております。新幹線・在来線ともに堅調に推移しておりますが、能登半島地震の影響を受けまして、北陸新幹線と北陸方面への在来線特急のご利用が減少している状況が見られるほか、直近では全般的に停滞気味の傾向もうかがえることから、今後のご利用を注視していきます。

私どもとしましては、引き続き安心してご利用いただけるよう、安全安定輸送に努めてまいります。

新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同月比				
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏	
				近距離券発売枚数	自動改札通過人員
12月	111% (93%)	113% (103%)	119% (91%)	109% (103%)	106% (91%)
1月 (1/1~14)	118% (94%)	95% (76%)	110% (78%)	109% (104%)	103% (91%)

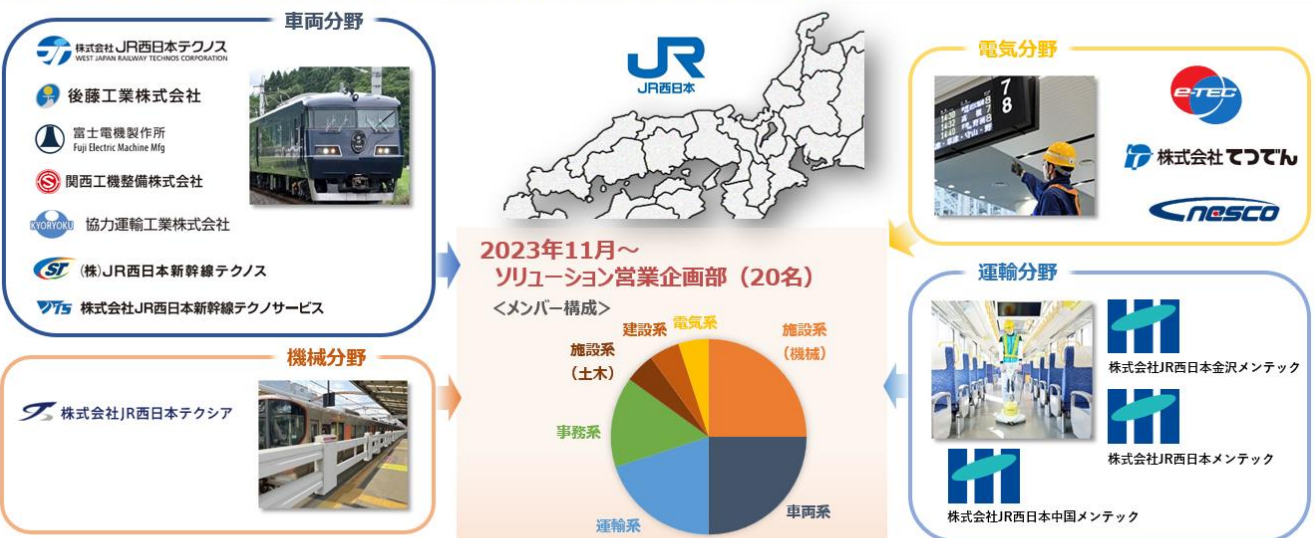
※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績と自動改札通過人員の前年同月比を併記。
※ () 内は、コロナ前の2019年同月比。

2. グループの技術・ノウハウをベースにしたビジネス拡大 ～鉄道アセットを活用した課題解決～

次に、グループの技術・ノウハウをベースにしたビジネス拡大についてご紹介します。

この取り組みは、鉄道の各分野において、当社グループの各社がこれまで培ってきた多種多様な技術・ノウハウをベースに、様々な業界や社会の課題を解決するソリューションを提供し、ビジネス拡大につなげていこうとするものです。

多種多様な技術・ノウハウをベースにした収益化活動を推進



様々なソリューション ➡ JR西日本グループ各社が培ってきた技術・ノウハウで実現

昨年11月、新規商材を発案・企画し、納入までをトータルでマネジメントする「ソリューション営業企画部」を新たに設置いたしました。当社グループ独自の知見、ノウハウ、技術を活かし、具体的なソリューションを顧客ニーズ起点で訴求していきたいと考えています。また、駅コンコースや駅周辺施設などの実証フィールドを用いたソリューションの磨き上げなど、当社グループならではの強みを活かしたご提案もしてまいります。

ソリューション営業企画部は、出身系統も経歴も多種多様なバックグラウンドを持つメンバーで構成されています。グループ各社からの逆出向者からなる技術営業部隊を組成するなど、フロントで営業企画を担う対外人財をグループ全体で育成しながら取り組んでいきたいと考えています。

具体的な事例をいくつかご紹介いたします。

最初に、車両をはじめとした転用・リニューアル改造のソリューション提案についてご紹介いたします。

車両をはじめとした転用・リニューアル改造

背景

- ✓ (鉄道業界) 中小の事業者中心に、安価な中古品の置き換えニーズ
- ✓ (当社グループ) 車両リニューアル・各種改造工事や関連設備に関する多岐にわたるノウハウ

設計・コンサル

- 企画段階からの提案、基本設計／詳細設計（依頼主ニーズの具体化）

スキーム図

※譲渡前に施工の場合もあり

リニューアル・各種改造工事 WEST EXPRESS 銀河 (117系改造)

- 新たなサービスに見合った車両リニューアル
- ワンマン化、短編成化、観光列車化など

メンテナンス

- 主電動機、空調装置などの機器、部品メンテナンス

設備機械の据付・整備

- 車両検修設備、工場設備全般

<進捗状況>

- **一部の事業者と設計にかかわる契約締結、車両導入に向け進捗中**
- **車両更新・譲渡関連で約10事業者と具体化中**

鉄道車両や関連設備の経年に伴う更新対応は、鉄道事業運営における大きな課題ですが、中小の鉄道事業者様を中心に、安価な中古品への置き換えニーズが高まっています。

当社グループはこれまで、WEST EXPRESS 銀河など、多くの車両リニューアルや各種改造工事を手掛ける中で、多岐にわたるノウハウを積み重ねております。鉄道事業者様の廃棄契約などの情報収集を継続的に行い、事業者様間を取り持ちつつ、車両や部品、設備の譲渡に伴う改造や部品整備において、事業者様に貢献できると考えております。具体的には、企画立案から基本設計、詳細設計を通じて事業者様のニーズを形にし、新たなサービス企画に見合った車両リニューアル、ワンマン化、短編成化、観光列車化といった各種改造工事を施工いたします。納品後も様々な部品メンテナンスや設備機械の据え付け、整備において豊富な実績を有しており、お役に立てるのではないかと考えております。現在、一部の事業者様と導入に必要な設計にかかわる契約に至るなど、特に車両の更新および譲渡を検討されている約10の事業者様と具体化に向けて調整中です。

本サービスは、限られた資源を有効活用する資源循環型社会の理念にも合致した取り組みであり、今後とも当社グループならではの得意を活かし、貢献範囲を拡げていければと考えております。

次に、「清掃ロボット導入支援サービス」についてです。

清掃ロボット導入支援サービス

背景

- ✓ (清掃業界) 人手不足の解消、業務の省力化・効率化が大きな課題
- ✓ (当社グループ) 様々なロケーションで培ってきた清掃ロボットのユーザー経験
特定の清掃ロボットメーカーに偏らない豊富な知見

取扱実績

- ・洗浄ロボット12台
- ・除塵ロボット10台...etc.

スキーム図

```

    graph TD
      JR[JR西日本  
(全体統括)] --> JR_M[JR西日本メンテック  
(導入支援)]
      JR_M --> JR_KC[JR西日本金沢メンテック  
JR西日本中国メンテック  
(情報連携)]
      JR_M -- 導入ニーズ --> BO[ビルオーナー]
      JR_M -- サポート --> BMC[ビルメンテナンス会社  
など]
      BO --> BMC
      BO --> JR_M
      JR_M --> BO
  
```

導入前

- ・現行の作業工程や施設構造の把握
- ・顧客ニーズに合致した最適な機種種の選定
- ・導入効果算出

導入時

- ・現場での実機検証や購入支援
- ・初期設定やマッピング支援など

導入箇所	人手による作業時間 / 日	
	導入前	導入後 ※()はロボットの稼働時間
大阪ステーションシティ (オフィスフロア)	3.5時間	10分 (3時間)
大阪駅コンコース (うめきたエリア)	1.5時間	15分 (1.5時間)

導入後

- ・清掃作業や区画の見直しによる設定変更対応
- ・従業員教育

<進捗状況>
オフィスビルや病院への清掃ロボット導入案件について具体化中

人手不足の解消、業務の省力化・効率化は、清掃業界共通の課題ですが、駅や商業施設といった様々なロケーションで培ってきた清掃ロボットのユーザーとしての経験と、特定の清掃ロボットメーカーに偏らない最新の情報や豊富な知見を元に、「清掃ロボット導入支援サービス」として、ビルのオーナー様やビルメンテナンス会社様などをサポートいたします。

ご提供できるサービス内容は、顧客ニーズに沿った最適機種種の選定、導入効果の算出、現場での実機検証や購入支援、初期設定やマッピング支援などの運用に向けたサポート、また導入後も、清掃作業や区画の見直しなどによる設定変更、従業員教育などにおいて、お役に立てるのではないかと考えております。

現在は、オフィスビルや病院などへの複数の清掃ロボット導入案件において、具体的な契約に向けたお話を進めさせていただいているところです。

経験や知見を活かした人とロボットの役割分担・作業方法などのトータルコーディネートにより、清掃業界における人手不足解消や業務効率化に資するサービスを展開してまいります。

その他、大阪・関西万博に向けてもニーズの高まる案内業務の効率化に対応した、当社グループ独自のAI案内システムや、全国に多く残る警報機および遮断機のない第4種踏切の安全性向上を目指した「踏切ゲート-Lite」など、全国の鉄道事業者様の課題解決に資するソリューションのご提案、社外展開を進めております。

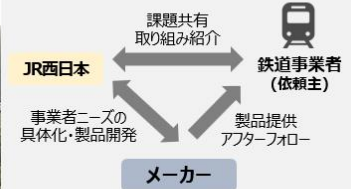
鉄道事業者の課題解決に資するソリューション提案の事例

AI案内システム



- <進捗状況>
- ・交通事業者、自治体等のニーズにより実証実験実績多数
 - ・大阪・関西万博に向けて高まる案内ニーズの取り込みを計画

踏切ゲート-Lite



<進捗状況>

- ・当社エリア外からも複数の鉄道事業者から関心あり
- ・依頼主のニーズをふまえた展開を計画・具体化中



当社グループが有する有形無形の鉄道アセットをベースに、クライアントや社会の課題解決にワンストップで伴走しながら、人と企業と技術のつながりを深め、進化させ、新たな価値を創造するビジネスモデルを築きたいと考えております。

社外との情報共有基盤サイト「イノベーションプラットフォーム」上でも積極的に情報を発信してまいります。様々なアプローチをいただいております。商談にも結び付いてきているところです。

3. 北陸新幹線 金沢～敦賀間開業に向けた取り組み

次に、北陸新幹線金沢～敦賀間開業に向けた取り組みについて、ご紹介させていただきます。

新規開業区間の試乗会



2024年3月16日（土） 北陸新幹線金沢～敦賀間開業

2月1日（木） 北陸新幹線金沢～敦賀間 試乗会を実施します！

観光周遊型XRバス



「新感覚 XR バス WOW RIDE® いこっさ! 福井号」

※「いこっさ」は福井弁で「行こうよ」という意味



ふくちゃん



愛称 ういちゃん

<左面>



<右面>



※販売方法や運行タイプの詳細はプレス資料をご参照ください

2月9日（金） お披露目式を実施します！

3月16日の開業までいよいよ2ヶ月を切りました。現在は乗務員の訓練運転や各種設備の作動確認など、開業へ向けた準備が最終段階を迎えております。安全・確実に開業を迎え、お客様や地域の皆様に安心してご利用いただけるよう、グループを挙げて準備に全力を尽くしたいと考えております。

来月初めには、新規開業する金沢～敦賀駅間の試乗会を予定しております。敦賀駅では降車いただいて、新駅舎を一足早く見学いただけます。2月1日に報道関係の皆様向けの列車を設定しておりますので、ぜひご取材いただければと思います。

また、昨年9月の東京地区会見でご紹介した「観光周遊型XR（エクスパール）バス」について、新たに販売概要や運行概要、ラッピングデザインなどが決まりましたので、本日お知らせしております。

車両は概ね完成し、2月9日にはお披露目、また報道関係の皆様には体験試乗いただける機会も別途予定しております。こちらのほうも是非ご参加いただければと思います。

今回の北陸新幹線の延伸が、今般の地震からの復興も力強く後押しできるよう、地域の皆様と連携しながら、開業に向けた準備を加速させてまいります。

最後に、先般、再構築に向けた計画が取りまとめられた城端線・氷見線について申し上げます。

私どもも参加させていただいた検討会において議論が重ねられ、先月、鉄道事業再構築実施計画の国への申請に至りました。

城端線・氷見線が今後も地域公共交通の重要な役割を果たすため、地域の皆様のご意向として「あいの風とやま鉄道」様へ事業主体を変更する方針が示されたことは意義深く、法に基づき、事業者・自治体・国の役割と責任の分担により、地元主体で地域に適した公共交通への再構築が図られるという、今後の地域交通のあり方についての一つのリーディングケースになりうるものと認識しています。

検討会の立ち上がりから、かなり短期間のうちに成案を得て国への申請に至りました。国土交通大臣も「非常に先進的。自治体の積極的な姿勢に敬意を表したい」と述べられています。

事業主体の変更という形で、地域全体で支える公共交通の絵姿が示されたことも踏まえ、地元や国も負担される中で私どもとしても最大限ご協力させていただくべきということで、拠出金につきましても精一杯の経営判断をさせていただきました。本計画の認定後は、着実な実現に向けて、引き続き地域の皆様とともに取り組んでいきたいと考えております。